

「2018年12月期(第3回) 旅行市場動向調査」

一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）では、JATA会員各社および中連協会各社へ調査モニターへの登録を依頼し、登録のあった647社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施しております。今回、12月期の調査がまとまりましたのでお知らせします。

《海外旅行DI》

DI値は3カ月前(7～9月)から変わらずマイナス3。3カ月後(1～3月)は－8ポイント低下しマイナス11。6カ月後(4～6月)は現況よりも－4ポイント低いマイナス7。

◆現況は夏休みの終わりを受け、遠方の地域や多くの顧客層で低下したものの、「シニア」と「商用・視察」の好調さにより、前回を維持し3カ月前の見込み値を大きく上回った。

《国内旅行DI》

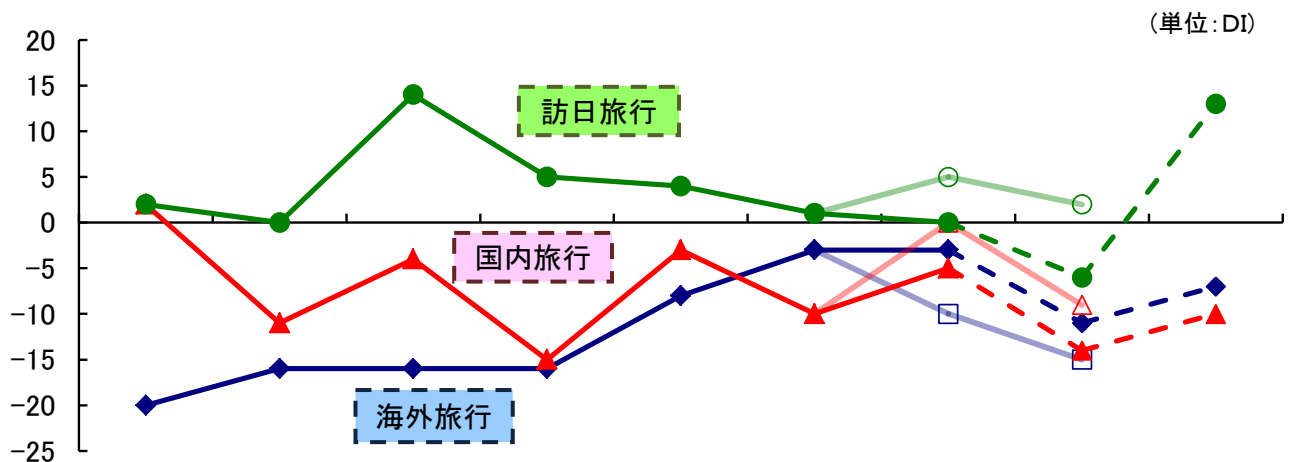
DI値は3カ月前(7～9月)から＋5ポイント高いマイナス5。3カ月後(1～3月)は－9ポイント低下しマイナス14。6カ月後(4～6月)は現況よりも－5ポイント低いマイナス10。

◆現況は自然災害等の影響が残り3カ月前の見込みDIを下回るものの、団体旅行が好調で全体としてはプラスとなった。3カ月後は個人・団体共に低調となり、全体としても厳しい見込み。

《訪日旅行DI》

DI値は3カ月前(7～9月)から－1ポイント低い0。3カ月後(1～3月)は－6ポイント低下しマイナス6。6カ月後(4～6月)は現況よりも＋13ポイント高いプラス13。

◆現況は前回と同水準で3カ月前の見込を下回った。北海道の災害の影響が残ったことで全体の回復には至らなかった。3カ月後はアジア地域からの訪日客の不調も見込まれ、マイナス圏となる見込み。



	1年半前 (4～6月)	1年 3カ月前 (7～9月)	1年前 (10～12月)	9カ月前 (1～3月)	6カ月前 (4～6月)	3カ月前 (7～9月)	現況 (10～12月)	3カ月後 (1～3月)	6カ月後 (4～6月)
海外旅行全般	-20	-16	-16	-16	-8	-3	-3 ※-10	-11 ※-15	-7
国内旅行全般	2	-11	-4	-15	-3	-10	-5 ※0	-14 ※-9	-10
訪日旅行全般	2	0	14	5	4	1	0 ※5	-6 ※2	13

※2018年9月期調査見通し数値

■旅行市場動向調査について

一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）では、JATA会員および中連協会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、会員1413社中、登録のあった647社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施し、その結果を発表しております。

「旅行市場動向調査」は、現況・先行き（3ヵ月後）についてのアンケートを実施し、旅行市場の動向を把握することを目的としております。

調査では各質問事項に対し「良い」「普通」「悪い」「取り扱っていない」で評価を求め、回答数から「取り扱っていない」（無回答を含む）の回答を除いたものを母数として各回答のシェアを算出し、「良い」を選んだ割合（%）から「悪い」を選んだ割合（%）を引いて、「D I」（=Diffusion Index ディフュージョン・インデックス）という景気動向指数に加工して発表しています。D I 値の範囲は、全て良い（100）から、全て悪い（-100）の間の評価となります。

◆調査概要

調査地域	： 全国
調査対象	： J A T A 会員各社、中連協会員各社の経営者など
調査方法	： インターネット調査
調査期間	： 2018年11月5日（月）～11月23日（金）
設定数	： 647社
回収数	： 260社
回収率	： 40.2%

◆業態別区分について

「旅行市場動向調査」では、各業況を業態別に分析しています。
各業態の定義と今回調査での回答件数は下記の表の通りとなっています。

業態名	定義	社数	比率
総合旅行会社	全国にネットワークを持ち、全分野に商品を持つ大規模な旅行会社	25	9.6%
海外旅行ホールセラー	海外旅行を専業とするホールセラー会社	14	5.4%
海外旅行系旅行会社	旅行業の取扱額が50億円以上で、うち海外旅行の取扱額が80%以上の旅行会社	16	6.2%
国内旅行ホールセラー	国内旅行を専業とするホールセラー会社	6	2.3%
リテラー1	上記以外で旅行業の取扱額が30億円以上の旅行会社	23	8.8%
リテラー2	上記以外で旅行業の取扱額が30億円未満の旅行会社	107	41.2%
インハウス	親会社の業務渡航などを中心に行っている旅行会社	34	13.1%
ネット系旅行会社	上記以外でインターネット販売が中心である会社	7	2.7%
訪日旅行系旅行会社	上記以外で訪日旅行販売が中心である会社	28	10.8%

*ホールセラー … パッケージツアーの企画・販売を専門に行う旅行会社

この資料についてのお問い合わせは、JATA広報室までお願いします。
なお、本データはJATAホームページ <http://www.jata-net.or.jp> でご覧になれます。
TEL : (03)3592-1244

■海外旅行全般の業況について

現況は夏休みの終わりを受け、遠方の地域や多くの顧客層で低下したものの、「シニア」と「商用・視察」の好調さにより、前回を維持し3カ月前の見込み値を大きく上回った。

総合

3カ月前には業況の大幅な低下が見込まれていたが、「シニア（60歳以上）」（+5ポイント）、「商用・視察」（+6ポイント）がプラス圏に浮上したこともあり、DIは3カ月前を維持した。地域別では遠方の欧州やハワイは-10ポイント程度低下するものの、「ミクロネシア」が+13ポイント、「中国」が+5ポイントと上昇した。

現況(10~12月) 「シニア」、「商用・視察」の上昇で、DI値は3カ月前を維持。

海外旅行全般は3カ月前(7~9月)から変わらずマイナス3

- ・「法人企業海外視察、褒賞旅行が増えつつある。」(リテラー2)
- ・「中国が伸びている。両国関係の改善に向けた報道が影響しているかもしれない。」(総合旅行会社)
- ・「相変わらず台湾を含む東アジアに人気強い、それに比べベロングホールは伸びは少ない。」(海外旅行ホールセラー)

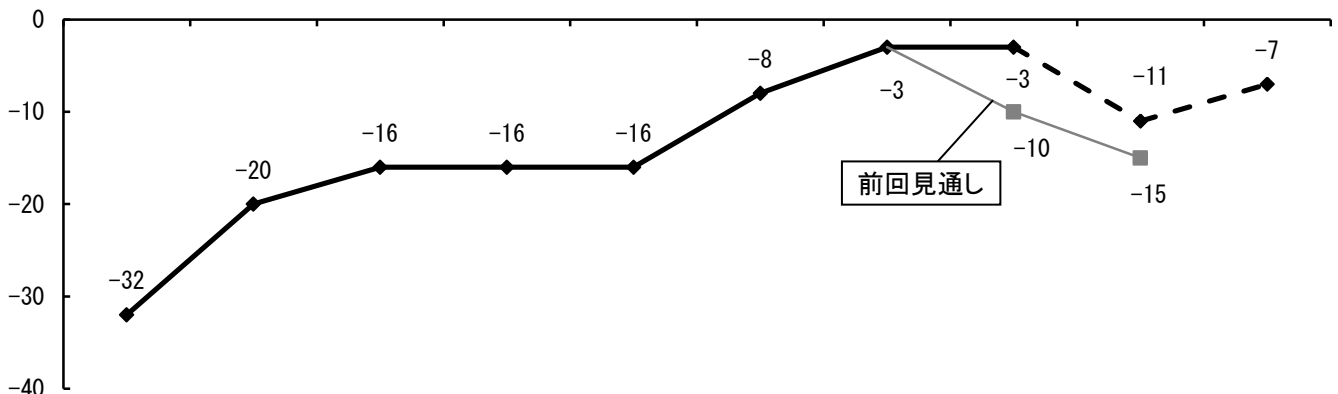
3カ月後(1~3月)は大幅に低下の見通し、6カ月後は緩やかに回復が見込まれる

3カ月後(1~3月)は-8ポイント下落しマイナス11。6カ月後(4~6月)は-4ポイント下落しマイナス7。

- ・「11月までは業務出張は好調、12月~2月は減少傾向にある(インハウス)」
- ・「ハワイは不調、今後に期待。韓国はまずまずであったが今後に不安。」(総合旅行会社)
- ・「来年のゴールデンウィーク10連休を見越して、遠距離の問い合わせが増えている。」(リテラー1)

N:有効回答数
(N=206)

(単位:DI)



2年前 (10~12月)	1年半前 (4~6月)	1年3カ月前 (7~9月)	1年前 (10~12月)	9カ月前 (1~3月)	6カ月前 (4~6月)	3カ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3カ月後 (1~3月)	6カ月後 (4~6月)
-32	-20	-16	-16	-16	-8	-3	-3	-11	-7
							※-10	※-15	

※2018年9月期調査見通し数値

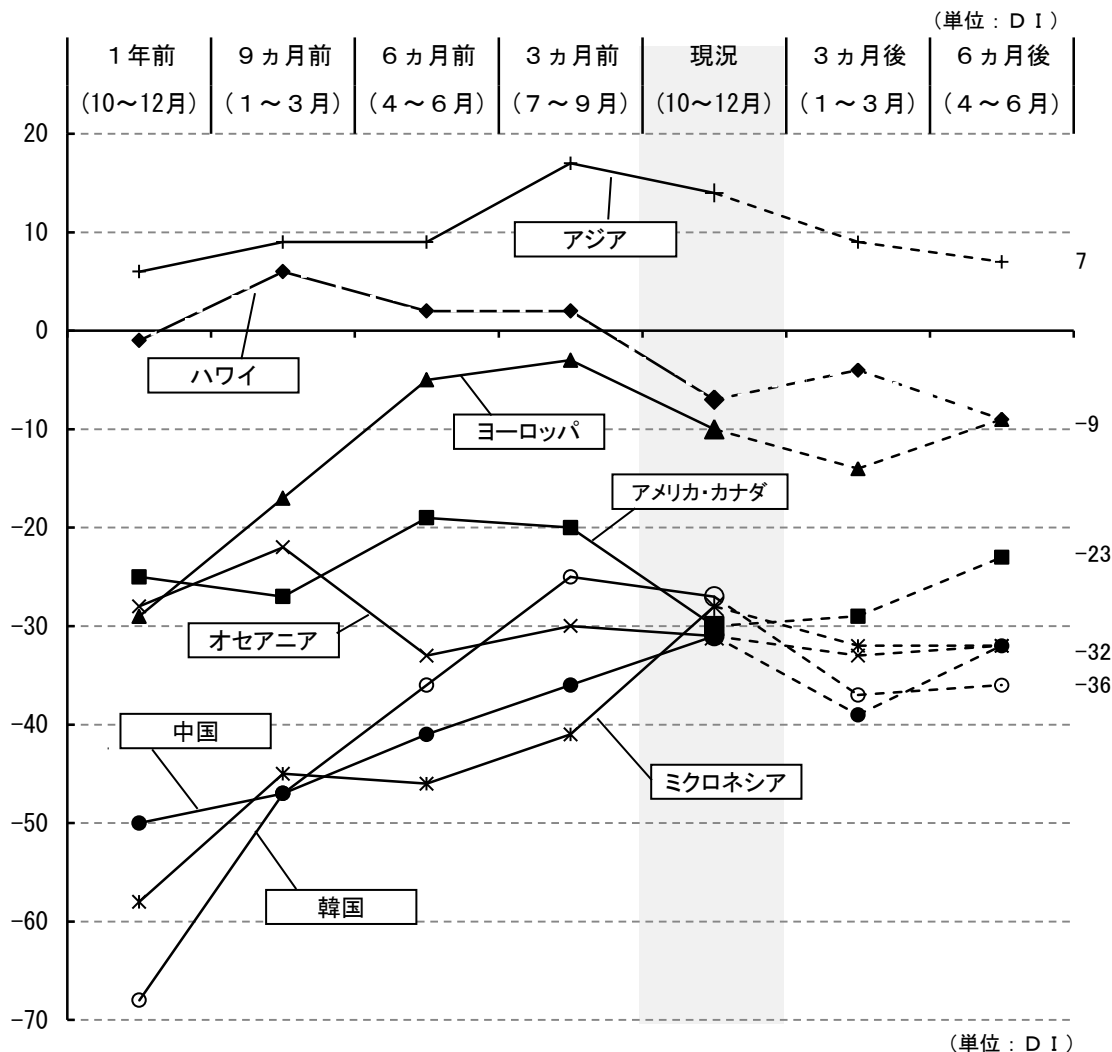
	1年半前 (4~6月)	1年3カ月前 (7~9月)	1年前 (10~12月)	9カ月前 (1~3月)	6カ月前 (4~6月)	3カ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3カ月後 (1~3月)	6カ月後 (4~6月)
総合旅行会社	11	10	15	9	-4	11	34	21	21
海外旅行ホールセラー	-35	-21	-44	-25	-32	17	7	-14	-7
海外旅行系旅行会社	-9	-14	-17	-35	-6	8	-19	0	-6
リテラー1	9	3	21	4	43	25	25	25	30
リテラー2	-34	-26	-39	-24	-15	-25	-16	-23	-23
インハウス	-15	-12	2	-8	0	14	7	-17	-7
ネット系旅行会社	-16	-100	25	-40	-40	12	-50	-25	25

◆海外旅行の需要動向（方面別）

夏休みの終わりを迎え、欧州など遠方は大幅減、近場の中国やマイクロネシアは上昇。
3ヵ月後は全体的に低迷。ハワイがわずかに回復するもマイナス圏に留まる見込み。

- 3ヵ月前（7～9月）に比べ「マイクロネシア」は+13ポイントと好調。「中国」も+5ポイントと堅調な動きとなった。大きく低下したのは「アメリカ・カナダ」（-10ポイント）、次いで「ハワイ」（-9ポイント）、「ヨーロッパ」（-7ポイント）であった。
- 3ヵ月後（1～3月）には「ハワイ」（+3ポイント）、「アメリカ・カナダ」（+1ポイント）で若干の回復が見込まれるものの、マイナス圏に留まる見込み。その他の地域については全て低下の見通しとなった。

N:有効回答数
(N=206)



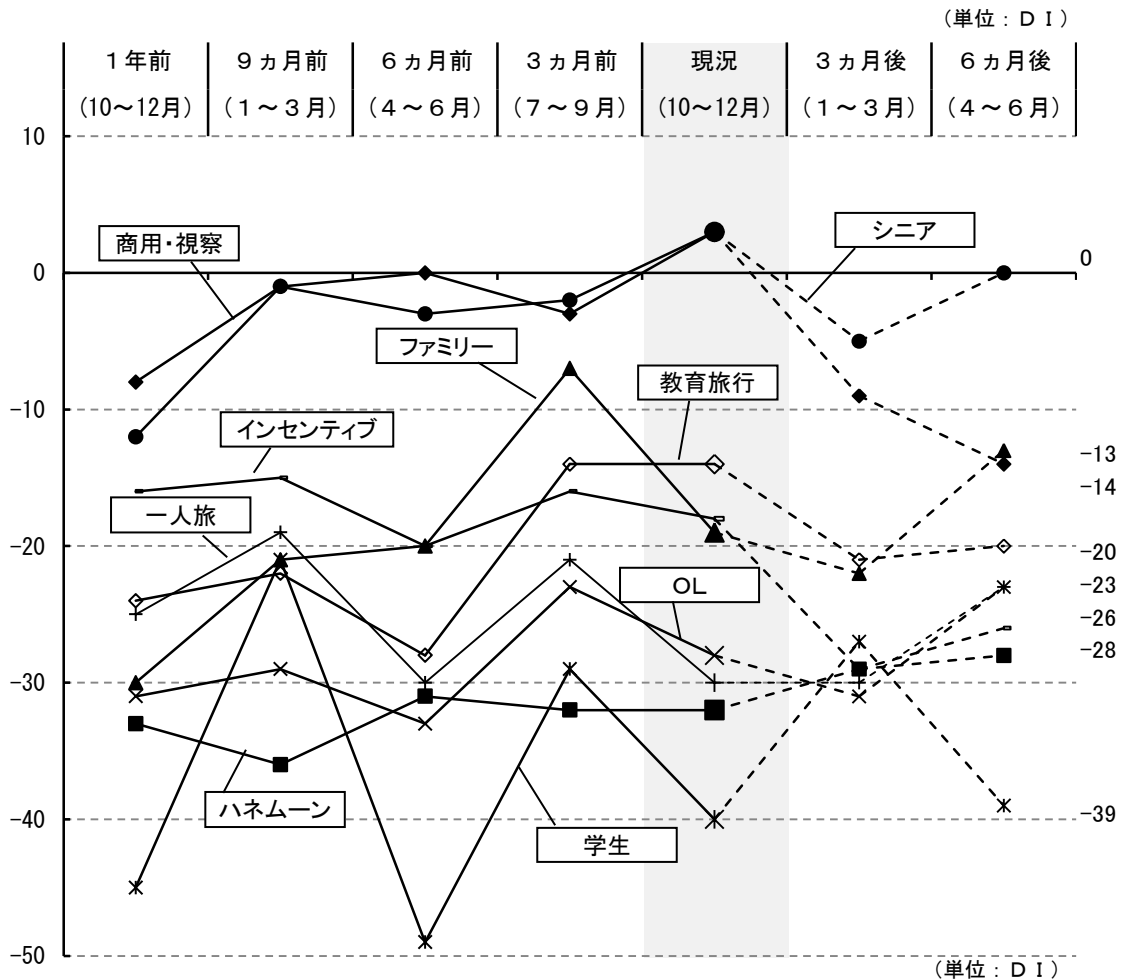
	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
ハワイ	-1	6	2	2	-7	-4	-9
アメリカ・カナダ	-25	-27	-19	-20	-30	-29	-23
ヨーロッパ	-29	-17	-5	-3	-10	-14	-9
オセアニア	-28	-22	-33	-30	-31	-33	-32
マイクロネシア	-58	-45	-46	-41	-28	-32	-32
アジア	6	9	9	17	14	9	7
中国	-50	-47	-41	-36	-31	-39	-32
韓国	-68	-47	-36	-25	-27	-37	-36

◆海外旅行の需要動向（顧客層別）

夏休みの終わりを受け、「ファミリー」など多くの顧客層で大幅減だが、「シニア」と「商用・視察」が好調。3ヵ月後は多くの顧客で低下の見通しであった。

- 3ヵ月前（7～9月）と比べて「ファミリー」が-12ポイント、「学生（教育旅行を除く）」が-11ポイント、「一人旅」が-9ポイントと、大幅な減少が目立った。一方で「商用・視察」（+6ポイント）、「シニア（60歳以上）」は増加し、DI値がプラス圏に達した。1年前と比較しても好調となった。
- 3ヵ月後（1～3月）は、多くの顧客層で減少が続く見込みとなった。「商用・視察」（-12ポイント）、「インセンティブ」（-11ポイント）などは大きく低下。上向いたのは「ハネムーン」の+3ポイント、「学生（教育旅行を除く）」は+13ポイントと大きく回復するも前年同時期と比べて低い見通し。

N:有効回答数
(N=206)



	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
ハネムーン	-33	-36	-31	-32	-32	-29	-28
ファミリー	-30	-21	-20	-7	-19	-22	-13
OL	-31	-29	-33	-23	-28	-31	-23
学生（教育旅行を除く）	-45	-21	-49	-29	-40	-27	-39
シニア（60歳以上）	-12	-1	-3	-2	3	-5	0
一人旅	-25	-19	-30	-21	-30	-30	-23
インセンティブ(*)	-16	-15	-20	-16	-18	-29	-26
商用・視察	-8	-1	0	-3	3	-9	-14
教育旅行	-24	-22	-28	-14	-14	-21	-20

*「インセンティブ」:企業・団体等が従業員への報奨として提供する旅行

■国内旅行全般の業況について

現況は自然災害の影響が残り、3カ月前の見込みDIを下回るものの、団体旅行が好調で全体としてはプラスとなった。3カ月後は個人・団体共に低調となり、全体としても厳しい見込み。

総合

国内旅行全般の業況は、3カ月前のマイナス10から+5ポイント増加にとどまり、回復は3カ月前の見込みを下回る結果となった。ふっこう割の効果は限定的と見られる。3カ月後も北海道は例年を大きく下回る見込み。団体旅行も軒並み低下の見通しであることや、比較的好調な「シニア」の低下が予想されることなどから、全体としては-9ポイントのマイナス14と、厳しい見通しになっている。

現況（10～12月）は北海道・山陽・山陰が対前年で大きく低下。団体は好調だが個人は不調。

国内旅行全般は3カ月前（7～9月）より+5ポイント上昇し、マイナス5。

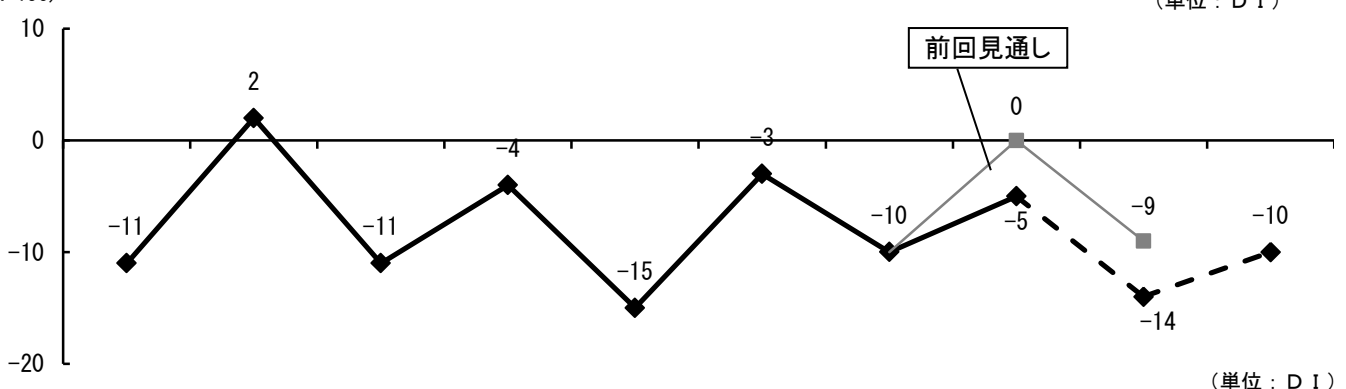
- ・「天災の影響をまだまだ受けているエリアも。地域によっては前年に比べ大幅マイナス」（総合旅行会社）
- ・「北海道ふっこう割の反応はあるが財源の問題もあり、恩恵を受けられる方は限定的か。」（リテラー1）
- ・「社員旅行がやや盛り返ってきている。」（リテラー2）

3カ月後（1～3月）は、団体旅行が軒並み低下など不調の見込み。

3カ月後（1～3月）は-9ポイント下落しマイナス14。6カ月後（4～6月）は-5ポイント下落しマイナス10。

- ・「復興支援策が十分に認識されていないと感じられる。」（インハウス）
- ・「最大クラスターの家族旅行が不調。」（リテラー1）
- ・「関西方面、九州・沖縄方面は例年並みだが予約のタイミングが遅くなってきています。」（リテラー2）

N:有効回答数
(N=156)



2年前 (10~12月)	1年半前 (4~6月)	1年 3カ月前 (7~9月)	1年前 (10~12月)	9カ月前 (1~3月)	6カ月前 (4~6月)	3カ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3カ月後 (1~3月)	6カ月後 (4~6月)
-11	2	-11	-4	-15	-3	-10	-5	-14	-10
							※0	※-9	

※2018年9月期調査見通し数値

	1年半前 (4~6月)	1年 3カ月前 (7~9月)	1年前 (10~12月)	9カ月前 (1~3月)	6カ月前 (4~6月)	3カ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3カ月後 (1~3月)	6カ月後 (4~6月)
総合旅行会社	18	-15	-7	-17	10	-11	5	5	15
国内旅行ホールセラー	-33	0	-33	-17	-27	-25	-16	0	0
リテラー1	20	0	21	-19	-5	-20	-20	-15	-15
リテラー2	5	-16	-5	-11	-3	-10	6	-14	-7
インハウス	-7	-3	0	-11	6	9	-23	-19	-18
ネット系旅行会社	-43	-27	-20	-33	-50	-33	-75	-75	-75

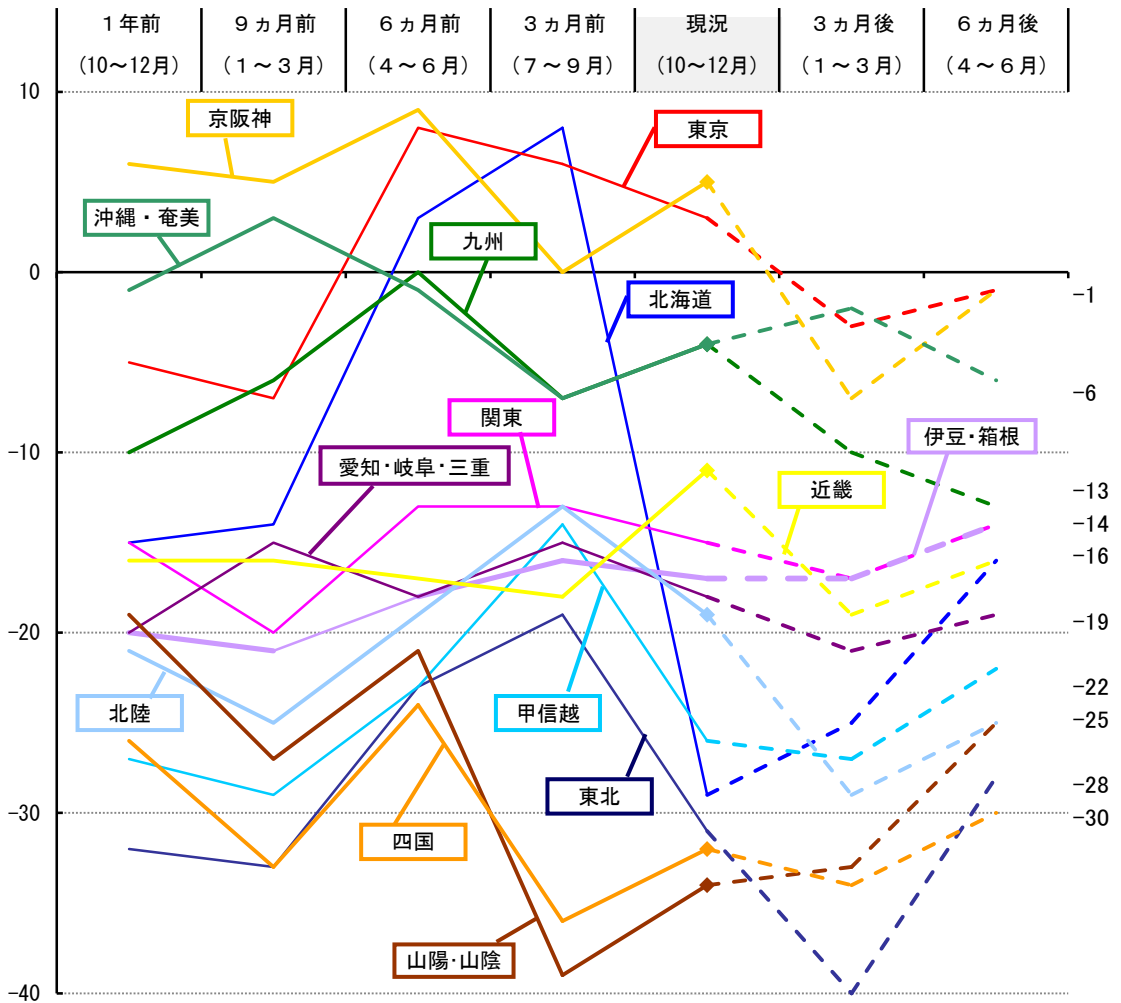
◆国内旅行の需要動向（方面別）

北海道は地震の影響で、前年同時期と比べて大幅減。ふっこう割の効果も限定的とみられる。3ヵ月以降は「東京」や「京阪神」が低下し全体的に低迷。プラス圏の地域が無くなる見込み。

- ・ 現況は3ヵ月前（7～9月）に比べ、地震のあった「北海道」（-37ポイント）や、「甲信越」（-12ポイント）、「東北」（-12ポイント）と、大幅な減少も目立った。3ヵ月前から増加したのは「近畿」（+7ポイント）、「山陽・山陰」（+5ポイント）など。
- ・ 3ヵ月後（1～3月）も「北海道」はマイナス25と、前年には大きく及ばない見込み。北海道以外に關しても、3ヵ月後は「京阪神（京都・大阪・USJ）」（-12ポイント）など、多くの地域で減少の見込み。回復はGWを控えた6ヵ月後に持ち越される見通しだが、プラス圏内の地域は無くなる見込み。

（単位：DI）

N:有効回答数
(N=156)



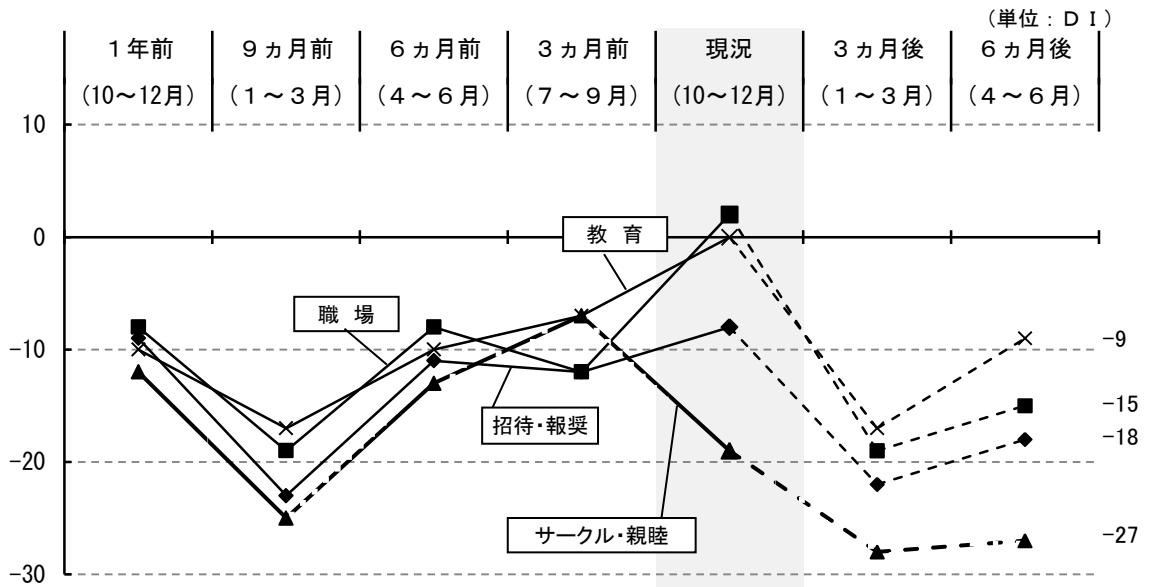
（単位：DI）

	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
北海道	-15	-14	3	8	-29	-25	-16
東北	-32	-33	-23	-19	-31	-40	-28
東京(TDR・横浜を含む)	-5	-7	8	6	3	-3	-1
関東	-15	-20	-13	-13	-15	-17	-14
甲信越	-27	-29	-23	-14	-26	-27	-22
伊豆・箱根(静岡を含む)	-20	-21	-18	-16	-17	-17	-14
愛知・岐阜・三重	-20	-15	-18	-15	-18	-21	-19
北陸	-21	-25	-19	-13	-19	-29	-25
京阪神(京都・大阪・USJ)	6	5	9	0	5	-7	-1
近畿	-16	-16	-17	-18	-11	-19	-16
山陽・山陰	-19	-27	-21	-39	-34	-33	-25
四国	-26	-33	-24	-36	-32	-34	-30
九州	-10	-6	0	-7	-4	-10	-13
沖縄・奄美	-1	3	-1	-7	-4	-2	-6

◆国内旅行の需要動向（団体旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前（7～9月）に比べ、「職場」（+14ポイント）、「教育」（+7ポイント）、「招待・報奨」（+4ポイント）と上昇した項目が多い。「サークル・親睦」のみ-12ポイントとなり、1年前と比べても-7ポイントと低迷した。
- ・ 3ヵ月後（1～3月）は軒並み低下の見通し。特に「職場」（-21ポイント）、「教育」（-17ポイント）などの大幅な低下が見込まれる。

N:有効回答数
(N=156)

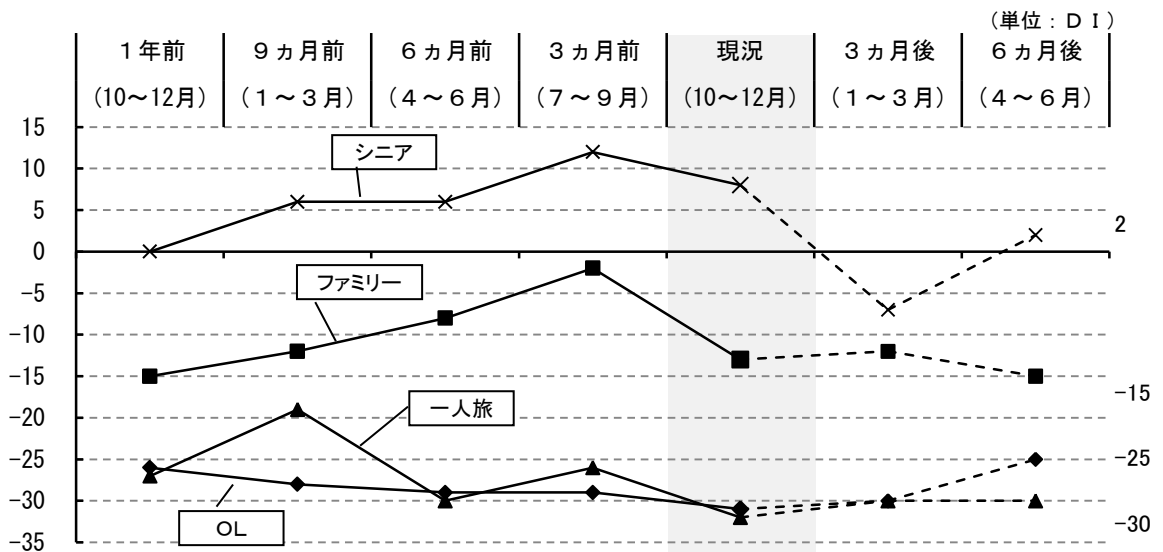


	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
招待・報奨	-9	-23	-11	-12	-8	-22	-18
職場	-8	-19	-8	-12	2	-19	-15
サークル・親睦	-12	-25	-13	-7	-19	-28	-27
教育	-10	-17	-10	-7	0	-17	-9

◆国内旅行の需要動向（個人観光旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前（7～9月）に比べ、「ファミリー」（-11ポイント）、「一人旅」（-6ポイント）と軒並み減少。ただし1年前と比べると大きな差はなく、夏休みが終わる時期としては例年並み。
- ・ 3ヵ月後（1～3月）は、DI値が唯一プラス圏内にあった「シニア」が-15ポイントとなりマイナス圏に入る。その他の顧客層も停滞が続く見込み。

N:有効回答数
(N=156)



	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
OL	-26	-28	-29	-29	-31	-30	-25
ファミリー	-15	-12	-8	-2	-13	-12	-15
一人旅	-27	-19	-30	-26	-32	-30	-30
シニア (60歳以上)	0	6	6	12	8	-7	2

■訪日旅行全般の業況について

現況は前回と同水準で3カ月前の見込を下回った。北海道の災害の影響が残り全体の回復には至らなかった。3カ月後はアジア地域からの訪日客の不調も見込まれ、マイナス圏の見込み。

総 合

現況は3カ月前から-1ポイントで、見込みDIを-5ポイント下回った。台風被害のあった「近畿」は+13ポイントと回復したものの、「北海道」が-33ポイントとなったことが響いた。出身国別でも「豪州」(-14ポイント)、「東南アジア」(-8ポイント)と減少した地域が目立つ。3カ月後も見通しは厳しく-6ポイント減少しマイナス圏となる。回復は6カ月後に持ち越される見通し。

現況(10~12月)は「北海道」激減の影響を受け低迷。

国内旅行全般は3カ月前(7~9月)より-1ポイント下落しプラスマイナス0。

- ・「当社は北海道地震の関係でツアーのキャンセルがでた。」(訪日旅行系旅行会社)
- ・「全体的にバスツアー台数は減少、それに伴い旅館宿泊者も減少傾向にある。」(訪日旅行系旅行会社)
- ・「紅葉の京都奈良が今年は特に好調、東北方面は紅葉時期でも今年は低調」(総合旅行会社)

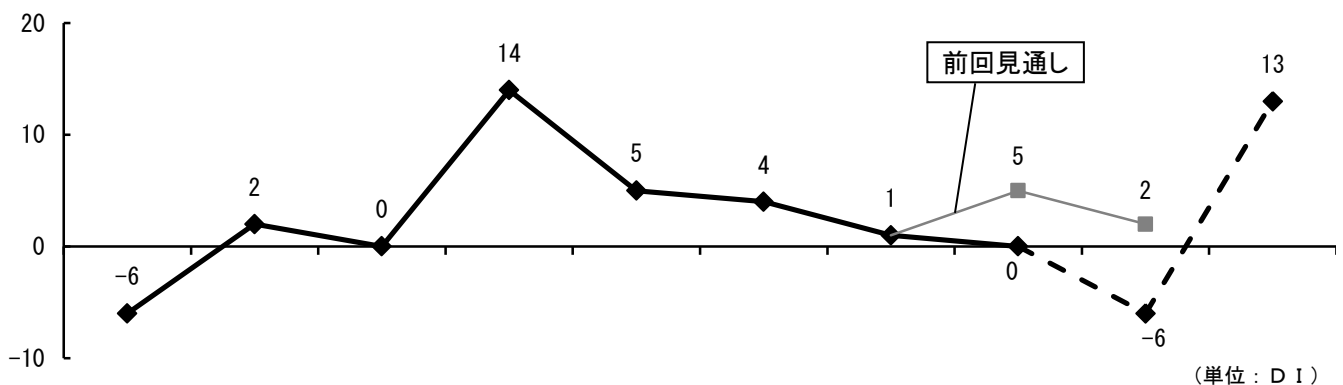
3カ月後(1~3月)も引き続き不調、全体が上昇するのは6カ月後になる見通し。

3カ月後(1~3月)は-6ポイント下落しマイナス6。6カ月後(4~6月)は+13ポイント上昇しプラス13。

- ・「震災の影響により9~10月はダウン。年内の盛り返し見通しは良くない。」(訪日旅行系旅行会社)
- ・「ほとんどがMICE関連による需要だが、この先の見通しは全般的に良いと言えない。」(インハウス)
- ・「中国・韓国が例年に比べて弱い。」(リテラー2)

(単位：DI)

N:有効回答数
(N=96)



(単位：DI)

2年前 (10~12月)	1年半前 (4~6月)	1年 3カ月前 (7~9月)	1年前 (10~12月)	9カ月前 (1~3月)	6カ月前 (4~6月)	3カ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3カ月後 (1~3月)	6カ月後 (4~6月)
-6	2	0	14	5	4	1	0	-6	13
							※5	※2	

※2018年9月期調査見通し数値

	1年半前 (4~6月)	1年 3カ月前 (7~9月)	1年前 (10~12月)	9カ月前 (1~3月)	6カ月前 (4~6月)	3カ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3カ月後 (1~3月)	6カ月後 (4~6月)
総合旅行会社	30	19	16	8	29	18	16	32	32
リテラー1	18	-22	20	11	0	10	16	-8	15
リテラー2	-3	-24	0	15	-11	-3	0	-19	9
インハウス	5	0	12	-27	-15	-9	-11	-22	11
ネット系旅行会社	-34	40	0	67	33	0	100	100	100
訪日旅行系旅行会社	-11	-3	17	0	10	-4	-12	-8	17

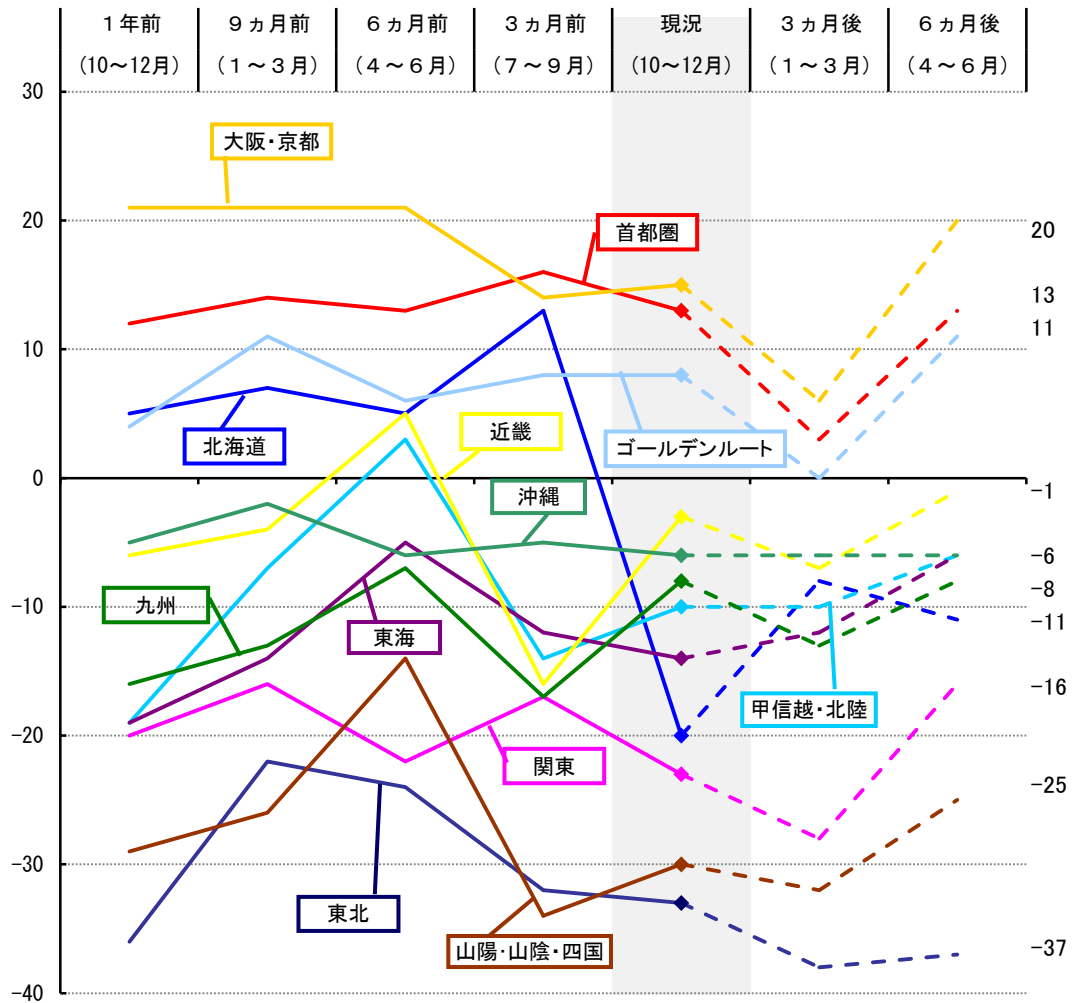
◆訪日旅行の需要動向（方面別）

震災のあった北海道の激減が目立つが、同じく災害のあった近畿や山陽・山陰は順調に回復。
3ヵ月後も全体的に低迷が続き、全体が盛り返すのはGWを控えた6ヵ月後となる見通し。

- 震災を受け、「北海道」は3ヵ月前から-33ポイントとなり、1年前と比較しても大幅な減少。「関東（茨城・栃木・群馬）」（-6ポイント）や「首都圏（TDR含む）」（-3ポイント）も減少した。台風被害のあった「近畿」は+13ポイントと順調に回復したが、全体的には停滞。
- 3ヵ月後（1～3月）も「大阪・京都」（プラス6）、「首都圏（TDR含む）」（プラス3）など、多くの地域で1年前を下回る見通し。しかし6ヵ月後（4～6月）には、「東海」（+8ポイント）、「関東（茨城・栃木・群馬）」（+7ポイント）と、好調な動きが期待されている。

（単位：D I）

N:有効回答数
(N=96)



（単位：D I）

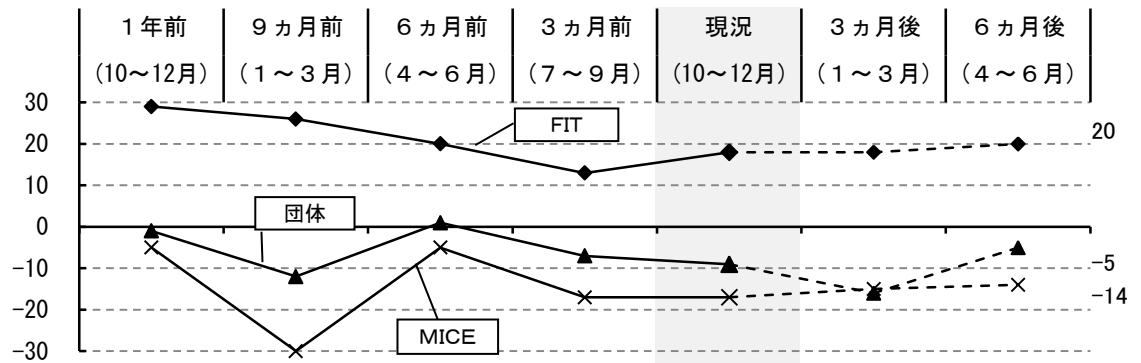
	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
北海道	5	7	5	13	-20	-8	-11
東北	-36	-22	-24	-32	-33	-38	-37
関東(茨城・栃木・群馬)	-20	-16	-22	-17	-23	-28	-16
首都圏(TDR含む)	12	14	13	16	13	3	13
甲信越・北陸	-19	-7	3	-14	-10	-10	-6
東海	-19	-14	-5	-12	-14	-12	-6
大阪・京都(USJ含む)	21	21	21	14	15	6	20
近畿	-6	-4	5	-16	-3	-7	-1
山陽・山陰・四国	-29	-26	-14	-34	-30	-32	-25
九州	-16	-13	-7	-17	-8	-13	-8
沖縄	-5	-2	-6	-5	-6	-6	-6

◆訪日旅行の需要動向（顧客種別）

- ・ 現況は3カ月前(7～9月)に比べ「団体」(－2ポイント)、「MICE」(±0ポイント)と全体的に停滞。1年前と比べると「FIT」(－11ポイント)、「MICE」(－12ポイント)と、苦戦しているといえる。
- ・ 3カ月後(1～3月)も「FIT」(±0ポイント)、「MICE」(+2ポイント)など、大きな動きは見られない。

N:有効回答数
(N=96)

(単位: D I)



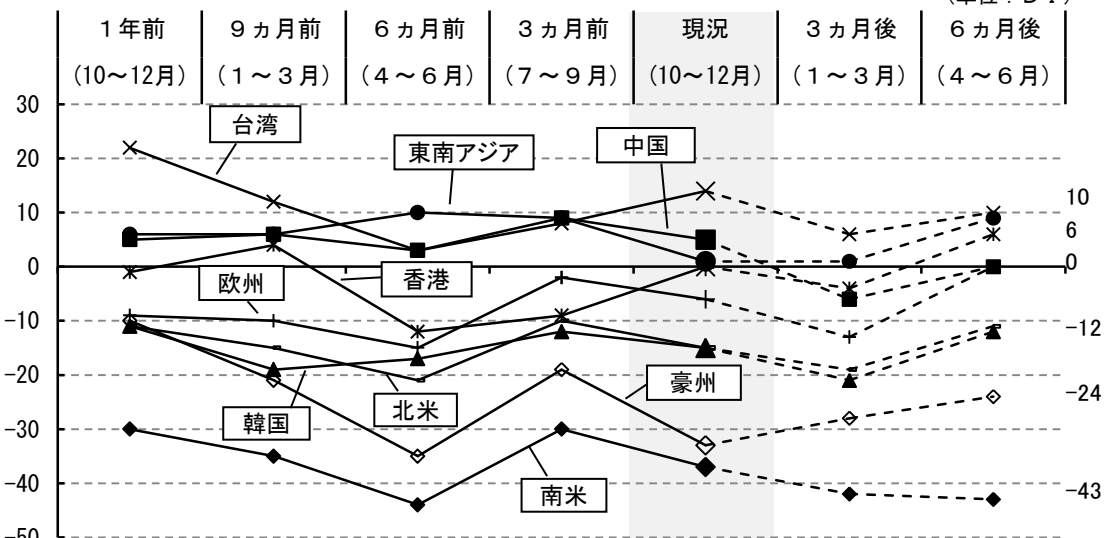
	1年前 (10~12月)	9カ月前 (1~3月)	6カ月前 (4~6月)	3カ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3カ月後 (1~3月)	6カ月後 (4~6月)
FIT	29	26	20	13	18	18	20
団体	-1	-12	1	-7	-9	-16	-5
MICE	-5	-30	-5	-17	-17	-15	-14

◆訪日旅行の需要動向（出身国別）

- ・ 現況は3カ月前(7～9月)に比べ、「香港」(+9ポイント)、「台湾」(+6ポイント)のみが上昇した。しかし「豪州」(-14ポイント)など、その他の地域は軒並み低下。
- ・ 3カ月後(1～3月)は、「中国」(-11ポイント)、「台湾」(-8ポイント)、「韓国」(-6ポイント)など不調が続き、全体的に上向き始めるのは6カ月後になる見通し。

N:有効回答数
(N=96)

(単位: D I)



	1年前 (10~12月)	9カ月前 (1~3月)	6カ月前 (4~6月)	3カ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3カ月後 (1~3月)	6カ月後 (4~6月)
中国	5	6	3	9	5	-6	0
韓国	-11	-19	-17	-12	-15	-21	-12
台湾	22	12	3	8	14	6	10
香港	-1	4	-12	-9	0	-4	6
東南アジア	6	6	10	9	1	1	9
欧州	-9	-10	-15	-2	-6	-13	0
北米	-11	-15	-21	-10	-15	-19	-11
南米	-30	-35	-44	-30	-37	-42	-43
豪州	-10	-21	-35	-19	-33	-28	-24